# 最新のWebアプリケーションの構築

今月のJava Magazineのテーマは Webアプリケーション開発。2年前にこのテーマを扱っていれば、完全に別の内容になっていたでしょう。当時は、相互に接続されたサービスの難題を大胆に解決する方法、すなわちJavaフレームワークについて、幅広く取り上げたのではないでしょうか。しかし、今月取り上げるJavaフレームワークはただ1つ、Spring Bootだけです。その理由は、Springが大人気のサード・パーティ・フレームワークとして頭角を現したこと、そしてWebアプリケーションの性質が大きく変わったことです。かつてフレームワークにより供給されたサービスが、今やさまざまな方法でRESTサービスに置き換わっています。RESTがこのままの勢いを続けるならば、JAX-RS 2.0仕様の役割はこれまでにないほど重要になります。

しかし、すべてのリモート・サーバー接続がRESTのシンプルなコマンドに合っているわけではありません。一部の接続は、長時間持続させる必要があります。その問題を解決する重要なソリューションが少なくとも2つあります。Java EEに含まれるWebSocketプロトコルと、もっと広範にサポートされている長時間ポーリング（※US）。どちらも驚くほど手軽に扱うことができます。シンプルなサービスをより多く使うことがWebアプリケーションでの新たなパターンであるとすれば、それはメタレベルでの新たなパターンでもあります。Webに限らず、あらゆる種類の大規模アプリケーションが、より小さなサービスに分解され、その後まとめられて、目的の機能を果たすようになっています。このマイクロサービスという方向性は、Dockerなどの比較的小さなコンテナがもたらす俊敏性が原動力となっています。そして皮肉にも、KumuluzEEのような新しいフレームワークが、このシンプルさを牽引しているのです。

最後に、実績十分のJavaServer Faces（JSF）を使う開発者のために、今月のJava MagazineではOmniFaces（※US）を詳しく解説し、チュートリアルを取り上げています。OmniFacesは2015年のDuke's Choice Awardに輝いた、多岐にわたるJSFユーティリティ・ライブラリです。

画像：I-HUA CHEN